

市民と市政

5.15

通巻1691号
広報紙は1日と15日に発行します

特集 防災特集

市役所あれこれ便利電話
おしえてコールひろしま
年中無休8～21時
☎082-504-0822
FAX082-504-2121

●担当課へは各課直通番号で
●市外局番の記載のない電話番号
はすべて市外局番(082)です

B型肝炎ワクチン

【接種開始時期】
生後2～9カ月未満
【予防できる感染症】
肝炎、肝硬変、肝がん^{など}

ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチン

【接種開始時期】生後2～7カ月未満
【予防できる感染症】髄膜炎、敗血症、肺炎^{など}

水痘ワクチン

【接種開始時期】
生後12～15カ月未満
【予防できる感染症】
水痘(水ぼうそう)

四種混合ワクチン

【接種開始時期】
生後3～12カ月未満
【予防できる感染症】ジフテリア、
百日せき、破傷風、ポリオ

BCGワクチン

【接種開始時期】
生後5～8カ月未満
【予防できる感染症】結核

日本脳炎ワクチン

【接種開始時期】
生後6～90カ月未満
【予防できる感染症】日本脳炎

麻しん・風しんワクチン

【接種開始時期】生後12～24カ月未満
【予防できる感染症】麻しん(はしか)、
風しん

大切なわが子を守るために 予防接種を受けましょう

子どもの定期予防接種は、法律などで、対象となる年齢や接種回数、接種間隔などが定められていて、生後2カ月から受けることができます。かかりつけの医療機関(小児科[※])と相談しながら、計画的に接種しましょう。

☎健康推進課(☎504-2622、FAX504-2258)

小学校入学前に受ける予防接種の主なものを紹介しています

大切なわが子を 感染症から守りましょう

感 染症は、重症化すると命を落とす恐れや重い後遺症が残る場合があります。しかし、予防接種を受けておくとその病気にかかりにくくなったり、かかっても、重症になる危険性を減らすことができます。

赤ちゃんは成長とともに人と接する機会が増え、感染症にかかるリスクが高まります。対象年齢になったら早めに予防接種を受けましょう。

■最新情報は市ホームページでも
接種方法などは変更する場合があります。最新情報は市ホームページでご確認ください。

市HP ■ページ番号でさがす 2952

携帯、スマホは右のコードで▶



●予防接種を受けるときは
母子健康手帳と保険証を持って、小児科などの医療機関へ



保険証

●予防接種券に貼る「名前シール」の活用を
市から送付している「名前シール」を貼れば、記入の負担が軽減。接種歴の正確な登録にもつながります



この位置にシールを貼付。保護者名、性別の記入は不要です。住所のみ手書きしてください。

●アプリで管理！
予防接種スケジュール
子育て応援アプリ「母子モ」で予防接種スケジュールの管理を簡単に



App Store



Google Play

佐伯区地域支えあい課
今村保健師

ワクチンの接種は定められた期間であれば無料で受けることができます。母子健康手帳の接種履歴を確認し、まだ受けていない予防接種がある場合は、医療機関や保健センターに相談してください



圏各保健センター地域支えあい課

区	電話	ファクス	区	電話	ファクス
中	504-2528	504-2175	安佐南	831-4942	870-2255
東	568-7729	568-7781	安佐北	819-0586	819-0602
南	250-4108	254-9184	安芸	821-2809	821-2832
西	294-6235	294-6311	佐伯	943-9731	923-1611